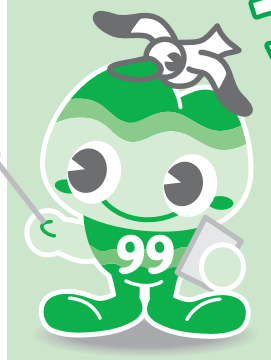


風水害、地震災害に備えましょう

まもなく、梅雨の時期を迎えます。テレビ・ラジオやインターネットによる気象情報に注意し、大雨による災害に備えましょう。また、地震は突然発生し、一瞬で生命や財産に大きな被害をもたらします。普段から、家庭で地震から身を守る対策を考え、もしもの時に備えましょう。



梅雨に備える

防災気象情報の活用

特に梅雨時期は、気象情報に注意が必要です。大雨などの時に発表される注意報や警報は、各地域の住民に注意を呼びかけ、災害による被害を最小限に食い止めることを目的としています。

● 重大な災害が起こる恐れがある場合、「大雨警報」が発表されます。災害危険個所では避難の準備が必要です

(発表基準値)

- 1 時間雨量 ↓ 50 ミリ以上
- 3 時間雨量 ↓ 100 ミリ以上
- 24 時間雨量 ↓ 150 ミリ以上

● 災害が起こる恐れがある場合、「大雨注意報」が発表されます。避難の心構えが必要です

(発表基準値)

- 1 時間雨量 ↓ 30 ミリ以上
- 3 時間雨量 ↓ 60 ミリ以上
- 24 時間雨量 ↓ 90 ミリ以上

災害時の避難場所の確認

日ごろから家庭や地域で災害時の避難場所を確認し、安全な経路を決めておきましょう。本市では、地区公民館や学校、公園などを避難場所に指定し、表示板を設置しています。

がけ崩れの前触れ

雨水が染み込み、柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちるがけ崩れには、次のような前触れがあります。日ごろから注意が必要です。

- がけから流れる水が濁る
- 地下水やわき水が止まる
- がけに亀裂が入ったり、小石が落ちてくる
- がけから音がする

地域の防災対策

万が一に備えて、家の内外(屋根、外壁、雨どい、非常持ち出し品)の確認をしたり、一人暮らしの高齢者などには、隣近所で声を掛け合ったりするなど、災害時は地域ぐるみでの活動が必要です。

普段の地震対策

- 家庭で防災会議を開く(家の中でどこが一番安全か、避難場所の確認、幼児・老人等の避難時の対応など)
- 家具等の転倒、落下防止をする(家具等は留め金などで固定する)
- ラジコ、非常食、飲料水、救急用品など非常持ち出し袋を準備する

地震発生時の家族の安否確認方法

- 地震発生時に落ち合う場所を決めておく
- 安否情報の取り次ぎをしてもらえる親戚・知人等(遠方に住んでいることが必要)を決めておく
- NTT「災害用伝言ダイヤル171」を活用する

災害用伝言ダイヤルの利用方法

「171」をダイヤルする  
利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生をする  
災害用伝言「171」と覚えてください

地震による津波に注意

- 地震による津波の発生が予想されるときは、注意が必要です。
- 海岸近くにいるときは、高い場所に避難する
- 小さな揺れでも注意する
- 津波のスピードは非常に速いので早めに避難する
- 津波は1回とは限らないので注意する

- テレビ・ラジオ等で正しい情報を得て、冷静に行動する

地震発生時の緊急避難場所

自宅周辺にある小・中学校、高校、大学のグラウンド、公園が一次的な避難所になっています。避難する場合は周囲の状況を確認し、安全な経路で避難してください。

地域自主防災組織の結成

阪神・淡路大震災では、生き埋めや屋内に閉じ込められた人のうち、専門の救助隊に助けられた人は、わずか1・7%でした。阪神・淡路大震災の教訓が示すように、大規模な災害が発生したとき、公的機関による救助活動が十分に行えない場合があります。そのとき重要な役割を果たすのが、地域住民が主体となつて活動する自主防災組織です。

現在市内では、百二十四の自主防災組織が結成されていますが、市内の世帯割合では26・5%にすぎません。地域自主防災組織の結成にご協力ください。



お尋ね 消防局防災対策課  
(☎0956・23・5121)

6月は環境月間です

「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」

地球温暖化防止のため、環境省の呼びかけで「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」が行われます。特に、6月18日(日)の夜を「ブラックイルミネーション2006」と題し、20時~22時の2時間、全国各地の大タワー類をはじめとするライトアップ施設の電気を一斉に消すことを広く呼びかけます。

皆さんの家でも電気を消して、地球の将来を考えてみませんか。

省エネルギーを心掛けましょう

- 冷房の温度は28℃以上、暖房の温度は20℃以下に設定する
- 自動車の停車中はエンジンを切る
- 使用していない家電製品はコンセントを抜き、待機電力を90%削減する
- シャワーの使用時間を1日1分間家族全員が減らす
- 家族が同じ部屋を利用し、冷暖房と照明の利用を2割減らす
- 買い物袋を持ち歩き、野菜などは省包装の物を選ぶ
- テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす



お尋ね 市環境保全課  
(☎0956・26・1787)

地震に備える

災害時の連絡先

長崎海洋気象台が佐世保市域に大雨・洪水警報を発表した場合、消防局に災害警戒本部を設置し、警戒に当たっています。災害が発生した場合は、関係機関へすぐに連絡を取りましょう。

地震発生時の行動ポイント

- まず、身の安全を確保する(丈夫な机やテーブルの下に身を隠す)
- すぐに火の始末をする(ただし、揺れが大きいときは揺れが収まるまで自分の身を守る)
- 非常脱出口を確保する
- 外に出るときは慌てず避難する(瓦などの落下物、ブロック塀の倒壊に注意)
- 正しい情報入手し、安全な手段で避難する(ラジオなどを活用)



「佐世保市地球温暖化対策地域推進計画」が策定されました

地球温暖化対策は人類の大きな課題です。地域での取り組みが地球規模の取り組みになることを理解してもらい、市民の皆さん一人一人が地球温暖化対策に取り組んでいくための指針として、「佐世保市地球温暖化対策地域推進計画」をことし4月に策定しました。今後は、この計画に基づき、市民団体、事業者と行政が連携、協働して、地球温暖化防止への取り組みを進めていきます。ご理解と協力をお願いします。